

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回発信日は3月28日週報(予定)

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「はっ酵乳需要が回復基調に～春休みに向け継続的に消費喚起を～」

- ・3/11週の牛乳類の販売個数は、前週(3/4週)と比較して4品目すべてのカテゴリで増加した。一進一退を繰り返しているものの、4週ぶりに全地域の気温が平年を上回ったため増加したと推察される。地域別に牛乳類の販売個数を見ると、東北地方や中国地方などの地域で前年を上回った。
- ・飲用需給が低調な状況で、春休み期間に突入しつつあるため、工場の稼働や生乳輸送に不測の事態が生じた場合、処理不可能乳が発生する懸念がある。生乳生産が増加基調にあるなかで、消費が強いとは言えない状況にあることから、完全処理に向けて酪農乳業界は一丸となり消費拡大対策や配乳調整に取り組む必要がある。
- ・家庭用バターの販売単価は、2月中旬をピークにやや下落し、そのほぼ横ばいで推移していたが3/11週は再び上昇基調となった。
- ・はっ酵乳の販売個数は、ドリンクタイプと個食タイプが前週から増加した。大容量タイプは前週から減少したものの前年との比較ではプラスに転じた。ドリンクタイプは年明け以降、販売単価が低下しており販売個数は3週連続で増加、3/11週には2021年度の水準を上回った。季節ニーズに対応した製品が好調に推移していると推察され、今後も動向が注目される。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

- 「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
- 「20,040のチカラ」 <https://www.j-milk.jp/news/Power20040.html>
- 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009qbz.html>

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(3/11週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:97.2%、成分調整牛乳:84.9%、加工乳:同98.2%、乳飲料:同99.5%。

牛乳類トータルでは同96.7%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は86.6%。

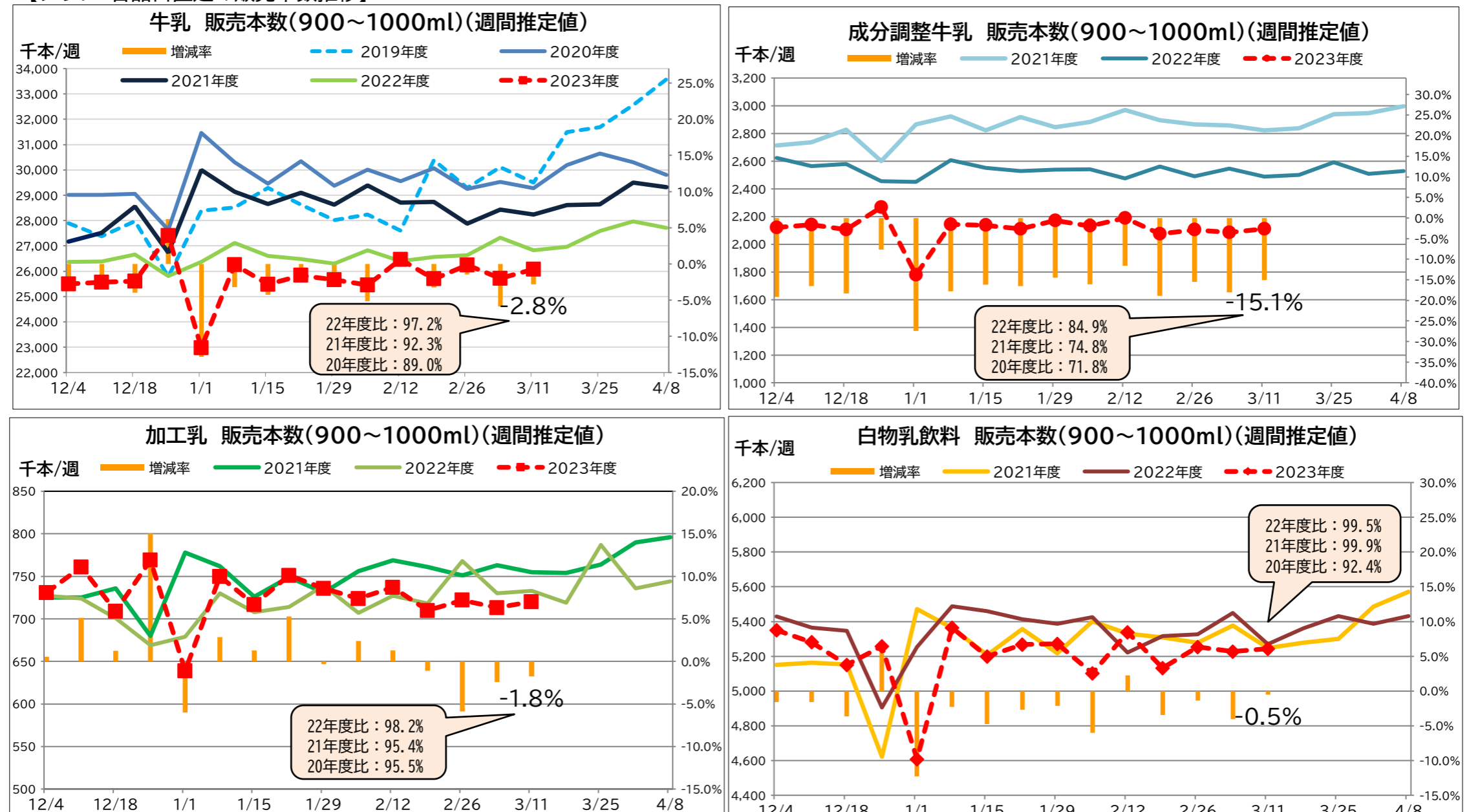
・販売単価は、牛乳:225.3円、成分調整牛乳:207.6円、加工乳:218.5円、乳飲料:173.9円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	1.22-	1.29-	2.5-	2.12-	2.19-	2.26-	3.4-	3.11-	24.3.11- 22.10.24 価格差	24.3.11- 23.3.20 価格差	24.3.11- 23.7.24 価格差
		販売個数	33,965	33,845	33,408	34,726	33,618	34,322	33,751	34,148		
トータル	販売個数前年比	96.7	96.8	94.1	99.7	95.6	97.5	93.6	96.7	33.0	18.1	15.7
	販売単価	216.7	216.5	216.7	216.5	216.6	216.2	216.2	216.2			
牛乳	販売個数	25,836	25,666	25,450	26,461	25,698	26,243	25,724	26,073			
	販売個数前年比	97.6	97.6	94.9	100.3	96.8	98.5	94.1	97.2	35.0	18.7	17.5
成分調整牛乳	販売個数	2,111	2,172	2,132	2,190	2,076	2,104	2,086	2,111			
	販売個数前年比	83.5	85.5	83.9	88.4	81.1	84.5	82.0	84.9	33.9	19.0	14.4
加工乳	販売個数	751	736	724	737	710	722	713	720			
	販売個数前年比	105.3	99.6	102.4	101.3	98.9	94.1	97.6	98.2	27.6	17.3	6.7
乳飲料	販売個数	5,267	5,271	5,103	5,339	5,133	5,253	5,228	5,244			
	販売個数前年比	97.3	97.8	94.0	102.3	96.5	98.6	95.9	99.5	24.2	14.4	9.7
	販売単価	173.7	173.4	174.0	173.8	173.5	173.2	173.5	173.9			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



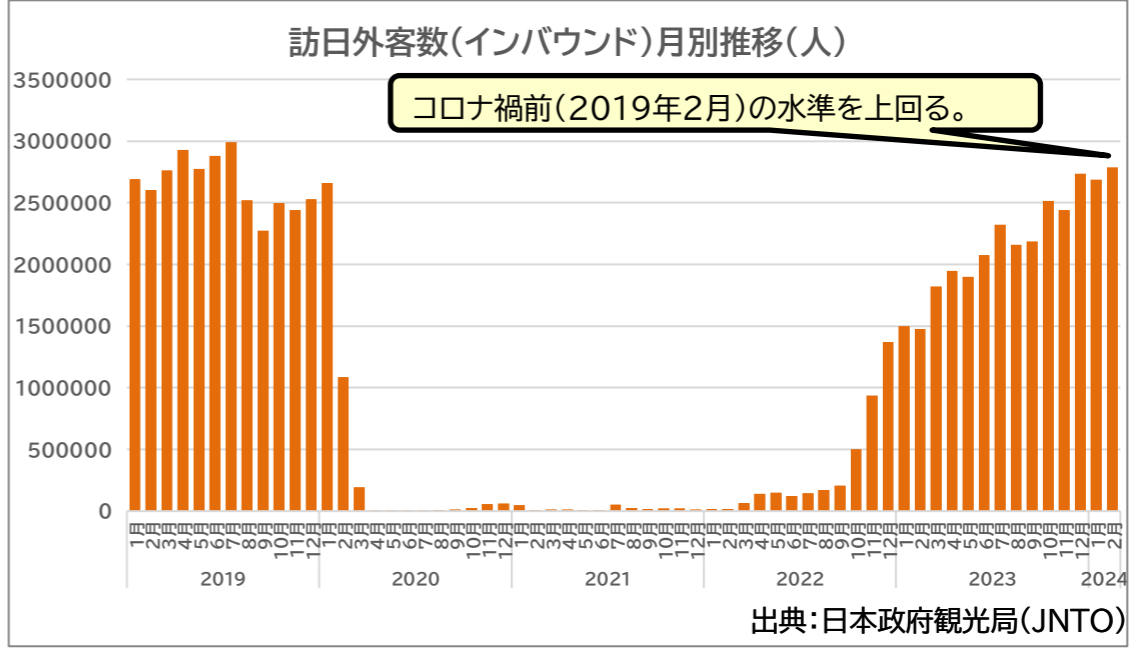
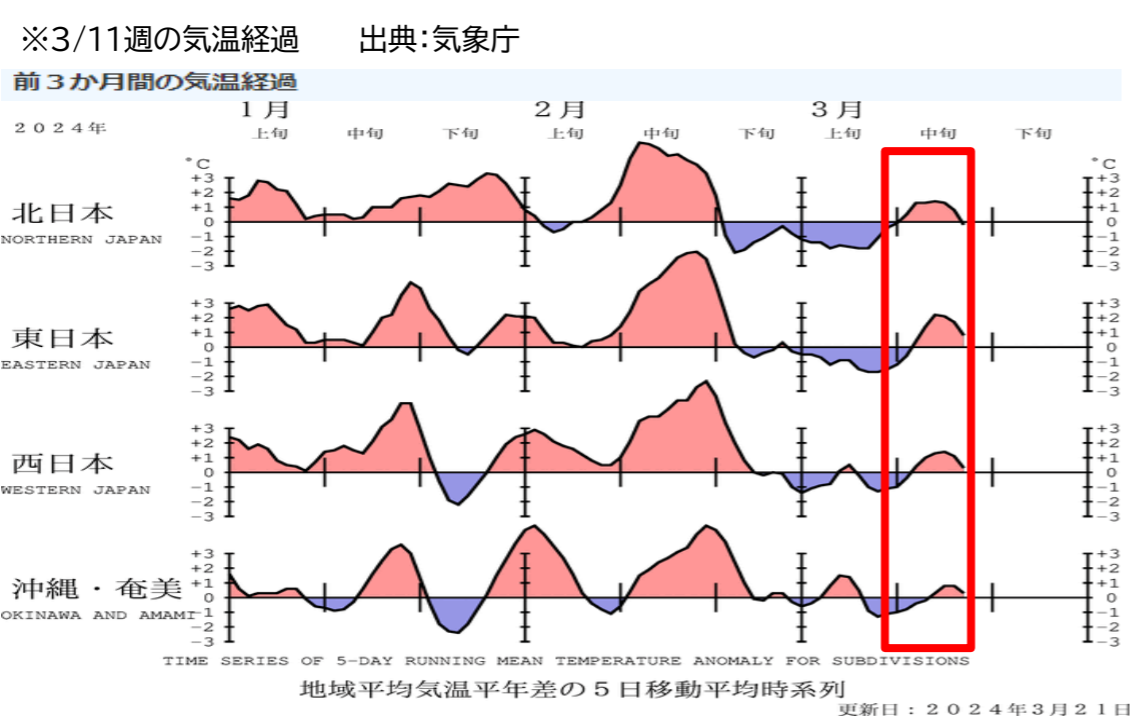
【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】
 (1)直近の動向(表②参照)
 直近(3/11週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。
 (2)販売個数について、前週(3/4週)よりドリンクタイプと個食タイプが増加、大容量タイプは若干減少した。ドリンクタイプと個食タイプは前年比100%以下となった一方、大容量タイプは100%を上回った。はっ酵乳全体としては、100%を下回った(3品目合計前年同期比:90%以上)。
 ※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績 (千個)

品目	1.22-	1.29-	2.5-	2.12-	2.19-	2.26-	3.4-	3.11-
ドリンクタイプ	↘	↓	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	→

- ↓ : 前年比90%未満
- ↘ : 前年比105%以上110%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
- ↗ : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- ↗ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」